



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月10日

東

上場会社名 株式会社アミファ

上場取引所

コード番号 7800

URL <https://www.amifa.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤井 愉三

問合せ先責任者（役職名） 執行役員経営企画室長 兼 経理部長（氏名） 堀内 亨（TEL）03（6432）9500

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第1四半期の業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第1四半期	2,825	△1.4	350	149.9	336	196.1	234	290.7
2025年9月期第1四半期	2,864	10.5	140	90.7	113	48.9	60	14.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	77.76	—
2025年9月期第1四半期	19.91	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第1四半期	4,503	2,336	51.9
2025年9月期	3,671	2,141	58.3

（参考）自己資本 2026年9月期第1四半期 2,336百万円 2025年9月期 2,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2026年9月期	—				
2026年9月期（予想）		0.00	—	26.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,000	1.8	275	1.7	260	8.7	400	105.7	126.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期 1 Q	3,235,000株	2025年9月期	3,235,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期 1 Q	216,439株	2025年9月期	216,439株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期 1 Q	3,018,561株	2025年9月期 1 Q	3,018,561株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第1四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策により、景気は緩やかな回復基調がみられるものの、インフレや円安の継続による消費者物価上昇の影響は大きく、米国の通商政策や地政学リスクの高まりによる影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした環境下、当社は、クリスマスなどのイベントをはじめ、新企画や新商品の提案に積極的に取り組み、主要顧客である均一価格ショップ各社に向けてライフスタイル商品の販売に注力しましたが、売上高は前年同期をやや下回る結果となりました。一方、損益につきましては、円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売と継続した原価低減により、前年同期より大きく改善し大幅な増益となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績の概要は以下の通りであります。

(千円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第1四半期累計期間	2,825,459	350,470	336,889	234,728
前第1四半期累計期間	2,864,351	140,260	113,775	60,084
増減額	△38,891	210,209	223,113	174,643
増減率(%)	△1.4	149.9	196.1	290.7

売上高は、前年同期比38,891千円減(1.4%減)の2,825,459千円となりました。

これは、シール類を中心とした文具類の販売が好調に推移しましたが、クリスマス関連商品の販売が前年同期を下回る水準で推移したこと等によるものです。

なお、当第1四半期累計期間における当社のライフスタイル商品の商品群別累計売上高は、下表の通り、「NB商品」が2,092,381千円(前年同期比13.8%増)、「PB商品」が733,078千円(前年同期比28.5%減)となりました。当事業年度より、中期経営計画に掲げる「ブランド価値に基づく差別化・収益力強化」に沿った数値を開示しております。これに合わせ、前年同期も上記に沿った数値を開示しております。

- ・NB(ナショナルブランド) : 当社独自のブランド名(主に「amifa®」)で販売。
- ・PB(プライベートブランド) : 得意先のブランド名で販売。企画と製造、もしくは製造のみを当社が担う。

(千円)

	NB商品	PB商品	合計
当第1四半期累計期間	2,092,381	733,078	2,825,459
前第1四半期累計期間	1,839,369	1,024,981	2,864,351
増減額	253,012	△291,903	△38,891
増減率(%)	13.8	△28.5	△1.4

円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売と継続した原価低減、前年同期に計上した商品在庫の評価損が当事業年度は大幅に減少したこと等により、売上原価率は6.6ポイント改善したことに加えて、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は大幅に改善しました。以上の結果、営業利益は、前年同期比210,209千円増(149.9%増)の350,470千円となりました。

経常利益は、前年同期比223,113千円増(196.1%増)の336,889千円となりました。

営業外収益は、前第1四半期累計期間に為替差損23,547千円を計上しましたが、当第1四半期累計期間は為替差損10,567千円と減少したことにより、経常利益の増益幅は増加しました。

当第1四半期累計期間に本社移転に関する費用を8,000千円特別損失に計上しました。

以上の結果、四半期純利益は、前年同期比174,643千円増(290.7%増)の234,728千円となりました。

なお、当社の事業は、ライフスタイル商品事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は4,218,856千円となり、前事業年度末に比べ760,572千円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が397,362千円増加、現金及び預金が251,867千円増加、棚卸資産が17,181千円増加したこと等によるものです。固定資産は285,067千円となり、前事業年度末に比べ72,312千円増加しました。これは主に投資その他の資産が77,894千円増加したことによるものです。

その結果、総資産は、4,503,923千円となり、前事業年度末比で832,884千円の増加となりました。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,720,947千円となり、前事業年度末に比べ684,688千円増加しました。これは主に短期借入金が600,000千円増加、未払金が75,860千円増加、買掛金が15,496千円増加等によるものです。固定負債は446,297千円となり、前事業年度末に比べ47,069千円減少しました。これは主に長期借入金が49,899千円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、2,167,245千円となり、前事業年度末に比べ637,619千円増加しました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,336,677千円となり、前事業年度末に比べ195,265千円増加しました。これは主に四半期純利益234,728千円及び配当金支払78,482千円により利益剰余金が156,245千円増加したことに加え、繰延ヘッジ損益が39,019千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて6.4ポイント減少し、51.9%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月14日に公表いたしました通期業績見通しの営業利益、経常利益は、当第1四半期累計期間において既に上回っておりますが、当社が展開するビジネスの特性上、利益が上期偏重型となっていることに加え、継続する円安リスクも考慮し、現時点で変更はしておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	842,213	1,094,080
受取手形及び売掛金	808,703	1,206,066
電子記録債権	9,707	23,052
棚卸資産	1,725,787	1,742,968
その他	71,872	152,687
流動資産合計	3,458,284	4,218,856
固定資産		
有形固定資産	25,971	24,658
無形固定資産	55,276	51,006
投資その他の資産	131,507	209,401
固定資産合計	212,754	285,067
資産合計	3,671,039	4,503,923
負債の部		
流動負債		
買掛金	166,509	182,006
短期借入金	100,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	199,599	199,599
未払金	422,731	498,592
未払法人税等	88,488	94,163
賞与引当金	19,425	—
その他	39,505	46,585
流動負債合計	1,036,259	1,720,947
固定負債		
長期借入金	201,066	151,166
退職給付引当金	37,965	40,795
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	493,367	446,297
負債合計	1,529,626	2,167,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,220	37,220
資本剰余金	273,586	273,586
利益剰余金	1,957,764	2,114,010
自己株式	△141,766	△141,766
株主資本合計	2,126,804	2,283,050
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	14,608	53,627
評価・換算差額等合計	14,608	53,627
純資産合計	2,141,412	2,336,677
負債純資産合計	3,671,039	4,503,923

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）
売上高	2,864,351	2,825,459
売上原価	1,964,690	1,750,215
売上総利益	899,660	1,075,243
販売費及び一般管理費	759,400	724,773
営業利益	140,260	350,470
営業外収益		
雑収入	42	15
営業外収益合計	42	15
営業外費用		
支払利息	2,238	2,465
為替差損	23,547	10,567
固定資産除却損	0	—
その他	740	562
営業外費用合計	26,527	13,596
経常利益	113,775	336,889
特別損失		
本社移転費用	—	8,000
特別損失合計	—	8,000
税引前四半期純利益	113,775	328,889
法人税等	53,690	94,161
四半期純利益	60,084	234,728

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ライフスタイル商品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産の償却費を含む。)は、以下の通りです。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	8,560千円	15,886千円

(重要な後発事象)

第三者割当による自己株式の処分

当社は、2025年11月14日開催の取締役会において、公益財団法人アミファ・デザイン・アート振興財団に対する第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、2025年12月25日開催の当社第55期定時株主総会において承認されており、2026年1月23日に払込が完了しております。

①処分株式数	普通株式200,000株
②処分価額	1株につき1円
③調達資金の額	200,000円
④募集または処分方法	第三者割当による処分
⑤処分先	公益財団法人アミファ・デザイン・アート振興財団
⑥処分期日	2026年1月23日